

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	小児1型糖尿病における病態とその要因に関する検討		
1. 研究の目的と方法	小児期に発症する1型糖尿病は、膵臓からのインスリン分泌ができなくなる病気で、生涯にわたりインスリン治療が必要となります。 本研究は、この病気をもつお子さんについて、発症時の重症度やその後の経過、病気に伴って起こる別の症状や病気（合併症）と、血液検査の結果（血糖値、HbA1c、インスリン、Cペプチド、抗体、甲状腺の検査など）との関係を調べることを目的としています。 調査は、これまでの診療で記録された情報を用いて行います。診療記録から、年齢や病気の経過、血液検査の結果などを確認し、それらと発症時の状態や合併症との関連について詳しく調査します。研究のために新たに検査や診察を受けていただくことはなく、通常の診療の中で得られた記録だけを利用します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	小児の1型糖尿病の患者さんで、2000年4月1日～2025年3月31日の間に東京慈恵会医科大学附属病院の小児科で治療を受けた0～17歳の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	基本的な情報：生年月、性別、既往歴 病気に関する情報：発症年齢、これまでの経過、治療内容、合併症の有無 血液検査の結果：血糖、HbA1c、インスリン、Cペプチド、血液ガス、総ケトン体、3-OHBA、膵島関連自己抗体、甲状腺の検査（機能・自己抗体）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 小児科学講座
		氏名	田嶋 朝子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 小児科学講座 木村 妙	

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 10 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 小児科学講座 研究責任者：講師 田嶋 朝子（たじま あさこ） 電話番号：03-3433-1111（代表）、内線：3321 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。